

わくわく中国文化



—中国の世界遺産⑦—

Illustration by KOH_HSL (instagram)

中国の世界遺産⑦

山西省は東の河北省と、西の陝西省と、南の河南省と、北の内モンゴルとそれぞれ接しています。面積は15.67万平方キロメートルで、人口は3465.99万人です（2023年）。省都は大原市です。春秋時代に「晋」という国があることから、今も「晋」という略称を持っています。

山西省には3つの世界文化遺産があります。

平遥古城

平遥古城は山西省の中部である晋中市平遥県に位置します。周の時代（前827年-前782年）から建造が始まりました。明の洪武3年（1370年）に再建されました。明清時代を通し、山西商人の全国的な活躍によって繁栄した町でした。今でも、中国で最も無傷で保存された古代の町です。中国の歴史で2700年に渡って漢民族の文化、社会、経済、宗教の発展の跡を街並みに留めています。1997年に世界文化遺産に登録されました。

平遥古城壁は外周6163メートルで、高さが約12メートルです。豪壮な景観を留め、築城時の状態をみごとに受け継いでいます。面積は2.25平方キロメートルです。中国の典型的な城郭や街路の配置、商店、寺院、住居などの古建築の保存状態はよく、「地上の博物館」と呼ばれています。街路の配置は「土」の字の形で、町全体的な配置は八卦の方位に従い、4つの大通りと8つの街と72の路地からなっています。民居の手入れと保存も申し分なく、3900軒以上を数えます。

城内には文物古跡も豊富で、国家レベルの重要文化財遺跡が10か所以上あります。彩色彫塑で名高い仏教寺院の双林寺や建造年代が不明な平遥市楼、「老銭荘老票号」と呼ばれる中国初の信用銀行「日昇昌」、唐の時代に建造された道教寺院の清虚観などがあります。



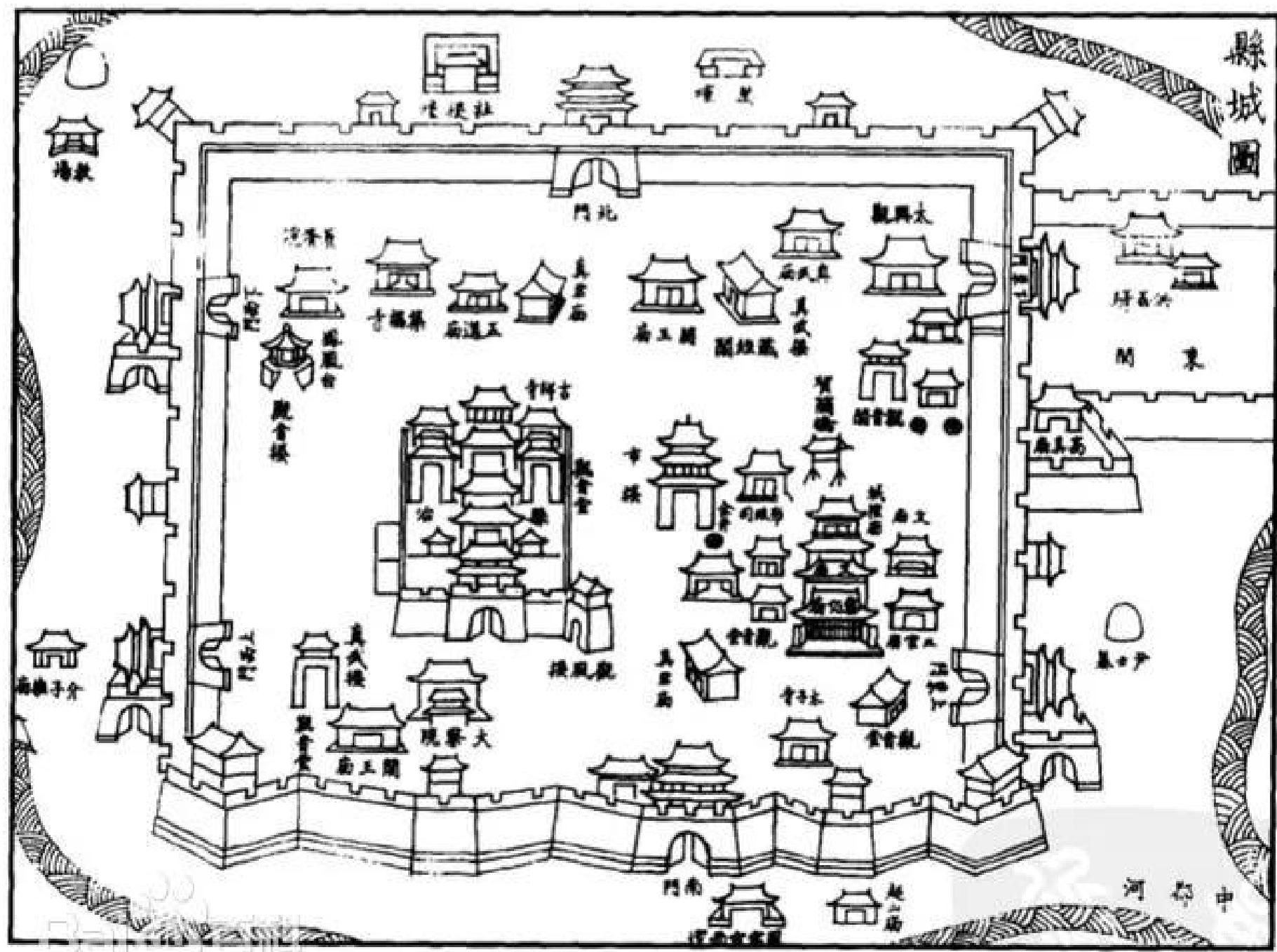
山西

SHANXI



中国の世界遺産⑦

明代平遥县城图



(清《平遥县志》康熙版上卷图)



平遥古城



平遥市楼



中国初の信用銀行「日昇昌」



双林寺



山西 SHANXI

中国の世界遺産⑦

雲崗石窟

雲岡石窟は山西省大同市から西17キロの武州山にあります。雲岡石窟の造営は北魏から唐にかけて約150年かかりました。現在存在している主な石窟は45で、仏龕は252で、仏像は59000体余りがあります。今から約1500年前の北魏時期（386-534年）の仏教禁圧が解除された後、僧侶である曇曜（どんよう）が石窟造営を奏上して許可をもらいました。雲岡石窟は中国史上初の皇室が許可したうえで造営した石窟で、中国5～6世紀の石窟芸術を代表し、仏教美術最大の遺産とされています。敦煌莫高窟の千仏洞と洛陽竜門石窟と共に「中国三大石窟群」と呼ばれています。2001年世界文化遺産に登録されました。

雲岡石窟は前期、中期、後期に分けられ、それぞれ石窟様式が異なります。最も早い時期に掘削され、力強い造形美を見せているのが「曇曜五窟」です。北魏の和平年間（460～465年）に、曇曜が5代の皇帝の姿に似せて彫らせたといわれ、力強く、重厚かつ素朴な作風を示し、遊牧部族だった北魏拓跋（たくぼつ）族のエネルギーを感じさせるものがあります。第5と第6窟には洞窟の入口に木造を模した楼閣があり、6窟には釈迦の誕生から涅槃までを浮き彫りにした仏伝図などのほか、古代楽器などのレリーフも彫られています。彫像の技法は秦漢時代の様式を継承し、インド・中央と西アジアの芸術要素やギリシャ・ローマの建築造形、装飾模様などの影響を受けながら雲岡様式を形成し、竜門石窟へと受け継がれていきます。

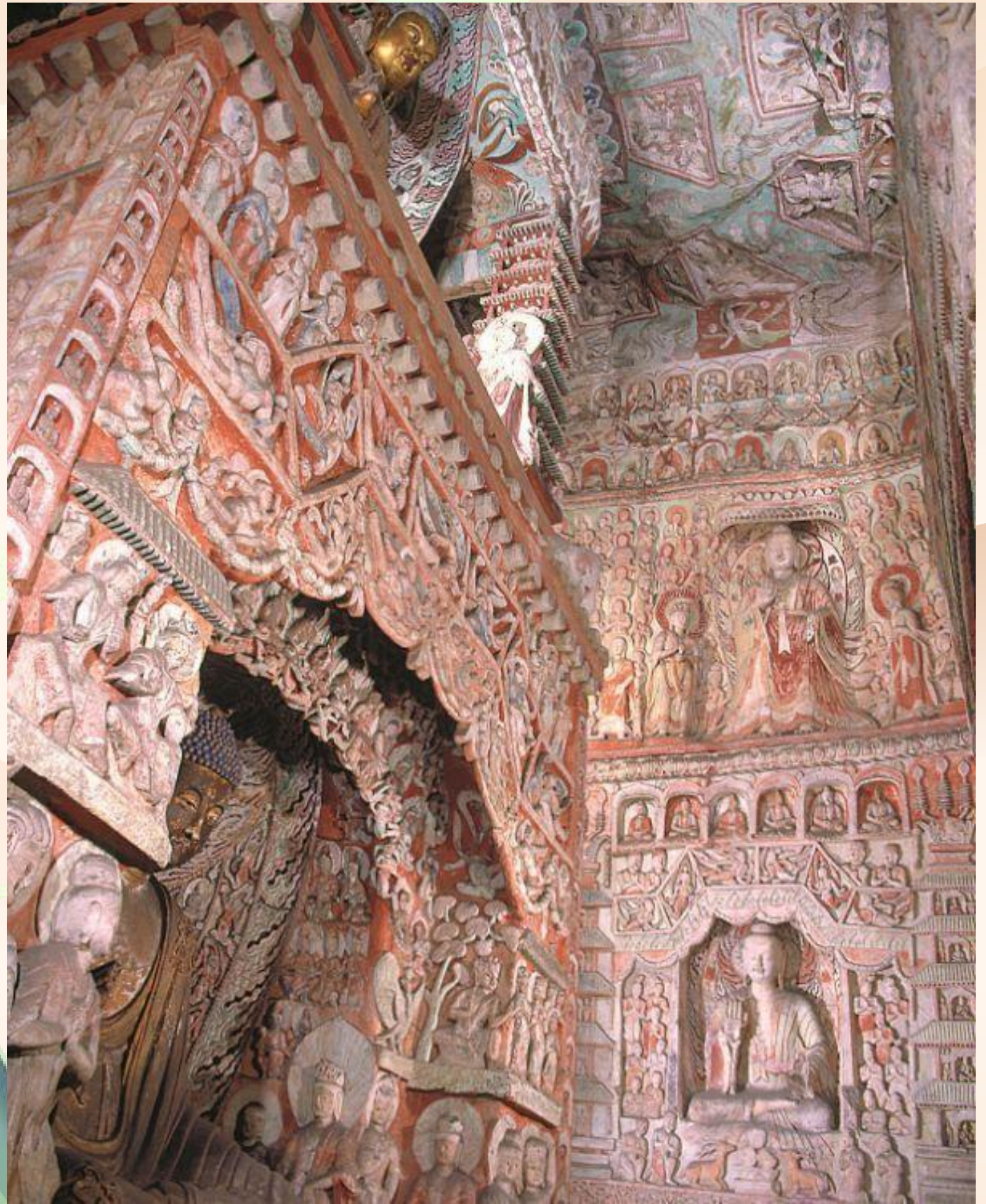
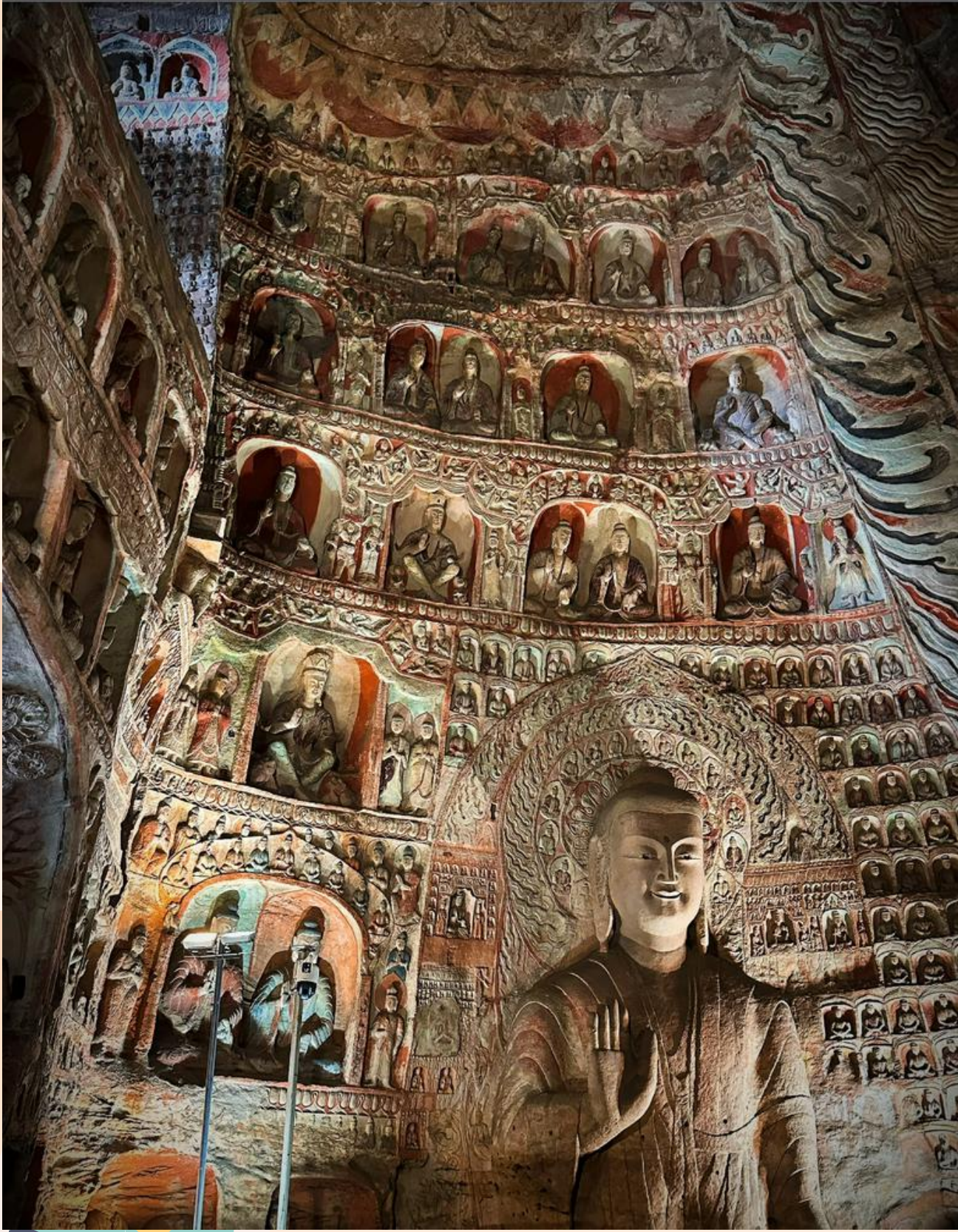


山西

SHANXI



中国の世界遺産⑦



山西 SHANXI



中国の世界遺産⑦

五台山

中国には仏教の「四大名山」と崇められる霊山があり、峨眉山（四川省）、五台山（山西省）、九華山（安徽省）、普陀山（浙江省）の中で、文殊菩薩の霊場とされる山西省忻州（きんしゅう）市の五台山はその首座にあり、最盛期には300以上の寺が林立し、世界最大規模の仏教建築群を擁して「仏国」と讃えられていました。2009年に世界文化遺産に登録されました。

五台山は山西省北東部に位置し、東、南、西、北、中の5つの山峰に囲まれ、峰頂が平坦な台状であることから、「五台山」と名づけられました。面積は2837平方キロメートルです。後漢の永平11年（68年）から建築が始まり、紀元4世紀から19世紀までの北魏、唐、宋、元、明、清など7つの王朝を経て68の寺院と5つの王朝の壁画と7つの王朝の彩色塑像が残されています。南禅寺は現存する中国最古の木構造建築です。仏光寺は「東方最古の真珠」と称されています。五台山のシンボリックな建築である白塔は元の大徳5年（1301年）からネパール人の建築家であるアニコさんによって建造された最高の覆鉢式（ドーム状）の仏舎利塔です。青廟（漢族仏教）と黄廟（チベット仏教）が一山に共存し、国内で唯一の共通の聖地となっています。

五台山の代表的な寺院を挙げると、塔院寺や菩薩頂、顯通寺、万仏閣、仏光寺、南禅寺、碧山寺などがあります。五台山は自然と仏教文化を融合し、中国古典哲学の「天人合一」を目指す修養の場ともなっています。昔からインドや日本、朝鮮、スリランカなどの仏教徒が五台山を訪ねていました。



山西

SHANXI



中国の世界遺産⑦



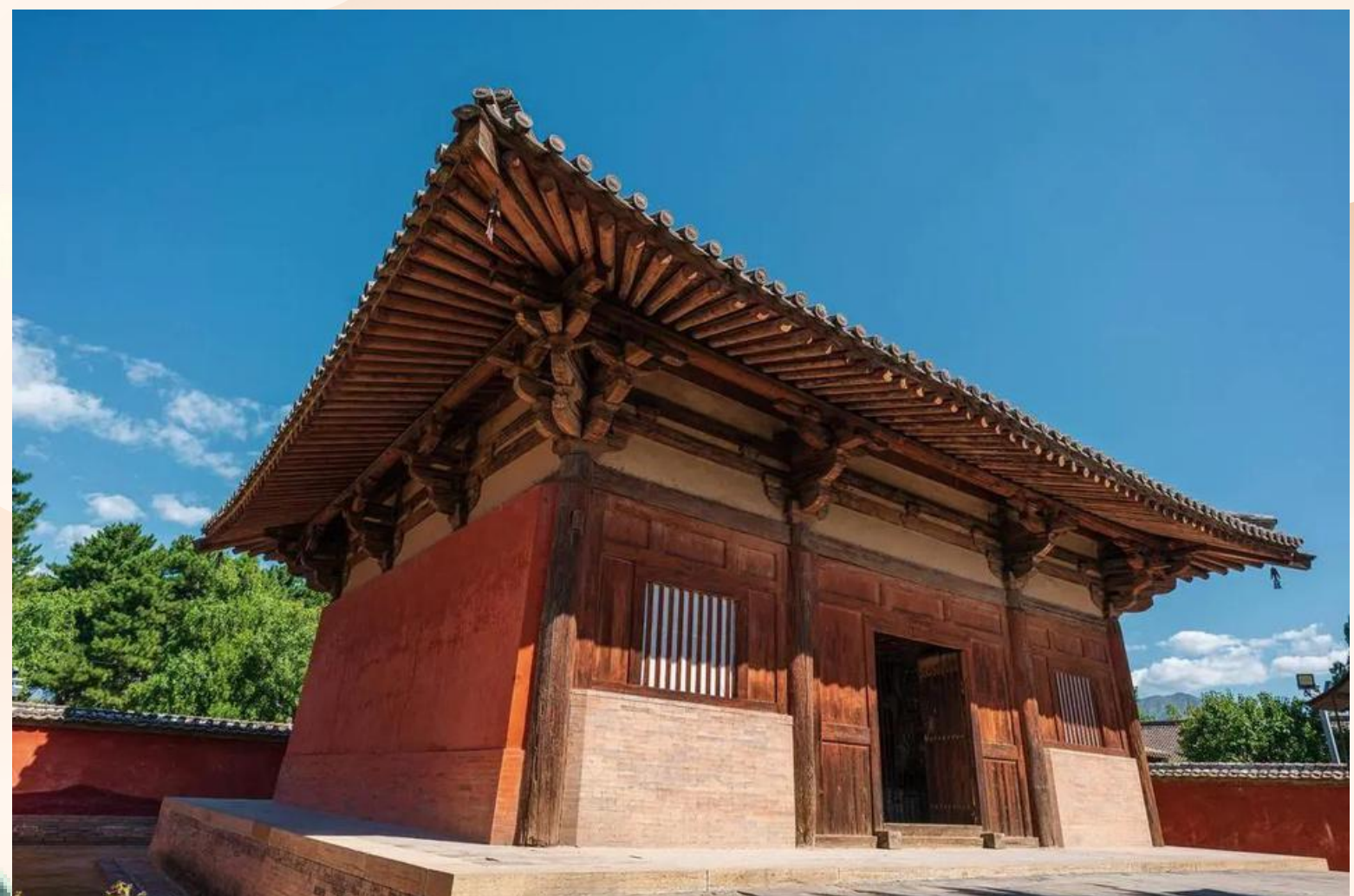
五台山と塔院寺



菩薩頂



顯通寺の明の銅製大殿



中国最古の木造建築・唐の南禅寺



山西 SHANXI

